

秋に増加する空き巣に注意！

秋は空き巣被害に遭いやすい季節と言われています。暑く開放的な時期が終わった後、油断していた頃に巻き込まれるケースも多いため、日頃から用心が必要です。

今回は空き巣対策についてまとめましたので、しっかり予習をおきましょう。

◎ 空き巣対策をしっかりと！

なぜ空き巣被害は秋に増加するの？

- ・日入りが17時前後となり暗くなる時間帯が早まるため、少しでも人の目を避けて犯行におよびたい空き巣犯にとって都合の良い時期になってしまいます。
- ・空き巣犯は必ず下見をされると言われていますが、秋は気候が涼しいために散歩する方が増える時期でもあるので、紛れて目的の家に接近しやすい状況が生まれてしまいます。

①家に近づかせない！

空き巣犯は、入りやすい家を下見で探してから犯行におよぶケースが多いと言われています。そのため、住宅に防犯ステッカーやセンサーライトを見えるところに設置することは「ここの住人は、わざわざ防犯アイテムを自分で設置している防犯意識の高い家」という目印になり侵入者を遠ざけてます。侵入者を近づけない工夫を各自行いましょう。



②家に入らせない！

警視庁が実施した空き巣犯の意識調査によれば、侵入するのに5分かかると8割近くの空き巣が諦めるそうです。玄関や窓に少しでも入りにくい工夫が施されていれば侵入率が下がるので、ドアや窓の補助錠はなるべく多くしましょう。特に、死角になっている窓には防犯フィルムを貼るのがおすすめです。

③大切なものを盗ませない！

ほとんどの空き巣犯が家屋内を物色する時間は5分程度と言われています。そのため、現金や貴重品は探し出すのに時間がかかる場所に置いたり、持ち運べない頑丈な金庫に入れるなどの工夫が非常に効果的です。

それでも被害に遭ってしまったら

すみやかに警察に通報しましょう。できる限り早く通報することで、より犯人が捕まる可能性が高まります。

不審者や不審車両を見かけたら
警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎ 0144 ⑤ 0110

追分駐在所 ☎ ⑤ 2003

安平駐在所 ☎ ② 2339

早来駐在所 ☎ ② 2030

遠浅駐在所 ☎ ② 2211

役場総務課 ☎ ② 2511